

# MUCCA

2016 10/16 sun 13:00~17:00

13:00~15:40 ワークショップ / 16:00~17:00 成果発表会(ミニコンサート)

## 埼玉県立近代美術館 講堂

MUCCA(ミュッカ):MUCCAは、視覚素材と音素材を組み合わせてインタラクティブにオーディオビジュアル作品を制作できるモバイルアプリケーションです。デジタルメディアの特性を活かし、視聴覚が一体となった表現の探求体験や、複数のアプリが共同するコミュニケーションの場の形成を実現しています。



- ・みんなで iPad で絵を描こう!
- ・みんなの絵が大画面で動き始めるよ!
- ・動き始めた絵から音が出てくるよ!
- ・みんなで描く絵と色と形で音楽を作ろう!

■定員10名(先着順)

ワークショップ申込:「MUCCAワークショップ参加希望」と明記し、

■参加費無料

①お名前(フリガナ付記) ②年齢 ③〒・住所・電話番号 ④メールアドレスを記入のうえ、

小学生以上(小学生は保護者が引率してください)

e-mail( MUCCA@artplatform.jp )またはファックス( 049-296-5311 )でお送りください。



**古川聖** : 1959年東京生まれ。ベルリン、ハンブルクの音楽アカデミーでイサン・ユン、ジョルジュ・リゲティのもとで作曲を学ぶ。作品は、新しいメディアと音楽の接点において成立するものが多く、1997年のZKMの新館のオープニングでは委嘱をうけて、マルチメディアオペラ「まだ生まれぬ神々へ」を制作・作曲。現在東京芸術大学・先端芸術表現科教授。社会の中で表現行為が起こる場、新しいアートの形を探して2002年より、新しいメディアを使ったワークショップを世界各国で行っている。



**濱野峻行** : 1985年東京生まれ。国立音楽大学で作曲、コンピュータ音楽、画像生成処理を学ぶ。オランダ王立音楽院ソノロジー科にて修士課程修了。2014年まで、科学技術振興機構ERATO岡ノ谷情動情報プロジェクト研究員(理化学研究所脳科学総合研究センター客員研究員と兼任)。玉川大学、国立音楽大学、東京芸術大学などで非常勤講師を務める。現在、東京芸術大学大学院美術研究科後期博士課程在籍。デジタルメディアを通じた創作教育について実践的研究を行っている。



**川村剛** : 1987年中国吉林省生まれ。2005年より東京工科大学にてプログラミングを学び、2008年にリアルタイム授業支援システムを開発。2009年より音声情報処理を大野澄雄教授に師事、日中間の音声による感情認識の違いについて研究(FIT(情報科学技術フォーラム)、情報処理学会、PACLINGで発表)、修士課程修了。2013年より独立行政法人科学技術振興機構ERATO岡ノ谷情動情報プロジェクト情動情報連携研究チーム客員技師。現在、東京工科大学で非常勤講師を務めるとともに個人事業主としてシステム開発を行っている。

主催:あなたとどこでもアート実行委員会/SMF(Saitama Muse Forum)/埼玉県立近代美術館  
後援:公益財団法人稲盛財団/先端芸術音楽創作学会(JSSA) 協力:東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系  
問合せ:東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系

Tel:049-296-5572 e-mail:takuro@mail.dendai.ac.jp

あなたとどこでもアート実行委員会事務局(埼玉県立近代美術館内)

Tel:048-824-0110(中村・菖蒲澤・大越) e-mail:SMF.info@artplatform.jp



さいたまトリエンナーレ2016  
市民プロジェクト

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し再創造するプラットフォームをめざしています。

<http://www.artplatform.jp>